

地域学校協働活動だより

インターネットでの枕崎市ホームページの検索方法

枕崎市地域学校だより

検索

ホームページ
QRコード

発行

枕崎市
教育委員会
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されていますので、QRコードやパソコンで検索してご覧ください。

～音楽の授業で箏、尺八の演奏と解説～ 立神中学校

立神中学校では1月21日と28日に、1年生の2クラスで箏（こと）と尺八による音楽の授業がありました。

箏はマーガレット会の川越支津子さん、山口直子さん、南條晴美さん、尺八は都山流竹示会の椎原久昭さんに演奏と解説をしていただきました。

川越さんからは「箏は日本古来の楽器で演奏も難しいが、若い人が伝統を引き継いでほしい。」との話があり、椎原さんからは「尺八は音が出るようになるまでが難しい。良い音を持続するには毎日の努力が必要である。」などの話がありました。

箏や尺八の演奏を聴くのは初めてという生徒も多でしたが、邦楽の生の音色と素晴らしい演奏に触れて、雅（みやび）な時間を体験することができました。



桜山小学校では1月末の「鹿児島をまるごと味わう学校給食週間」に合わせて、3～6年生を対象に、外部講師の方を招いて食育の授業を行いました。

～学校給食週間に食育の授業～ 桜山小学校

3年生は給食センターの坂元先生と枕崎牛の生産者である山下さんに、4年生は給食センターの山田先生と鰹節生産者（水産加工組合）の高倉さんに来ていただき、それぞれに飼育・生産にかかる熱い思いや願い、仕事をする上での工夫や努力を教えてくださいました。

子供たちも初めて知ることが多く、次々に質問が飛び出すなど、活発な授業になりました。

高学年の5・6年生は、それぞれ給食センターの栄養教諭の先生方に来ていただき、5年生は、食肉加工を例に「命をいただく」ことの意味を深く見つめ直し、6年生は、食品ロス、食の安全、食と健康等の食に関する問題を中心に、よりよい食生活の在り方について考えました。



児童の質問に答える枕崎牛生産者の山下さん

学校応援団ボランティア 募集中！

詳しくは
生涯学習課まで

TEL72-0170

枕崎中学校では2月24日の午前と午後に、1年生の2クラスで鹿児島水産高校の生徒による調理実習の出前授業がありました。

～水産高校生がカツオ料理の出前授業～ 枕崎中学校

水産高校の「どこでも授業」として、枕崎市の特産品であるカツオの魅力を見て食べて感じてもらうと企画されたもので、枕崎中学校出身の食品工学科2年生の生徒4人が講師となって中学生を指導しました。



最初に、水産高校生の揚村さんによるカツオをさばく解体ショーがあり、その後グループに分かれて切り身にしたカツオを使って調理を開始。先輩が包丁の使い方などを指導し、カツオのパスタを作りました。

中学生は先輩の包丁さばきに驚きながらも、自分たちでも包丁でカツオをサイコロ状にカット。麺のゆで方もバッチリで、美味しいカツオのパスタができあがりました。

中学生は先輩の包丁さばきに驚きながらも、自分たちでも包丁でカツオをサイコロ状にカット。麺のゆで方もバッチリで、美味しいカツオのパスタができあがりました。

別府小学校では、1月29日に1年生と別府校区老人クラブの方々と「昔の遊び」でのふれあい交流があり、「竹トンボ」

～高齢者と1年生が「昔の遊び」で交流～ 別府小学校

や「こま回し」など9種類の昔の遊びを体験しました。

別府地区公民館の青少年講座も兼ねており、老人クラブの方たちも子供たちと一緒に全部の遊びを体験し、1年生との触れ合いに笑顔がこぼれていました。

昔の遊びの後は、全員で折り紙の紙飛行機を作って、誰が一番遠くに飛ばせるか競争をして楽しみました。

最後は、子供たちが「男の勲章」の曲に合わせてキレキレのお礼のダンスを披露して、高齢者の拍手喝采を浴びていました。



～「ロコモコ丼」の調理を指導～ 桜山中学校



桜山中学校では2月16日に1年生のクラスで家庭科の調理の授業があり、3名の「食生活改善推進員」の方々がボランティアで調理のサポートを行いました。

この日は「肉の調理上の性質を理解して、ロコモコ丼をつくろう」というテーマで、ハンバーグと目玉焼きをフライパンで焼いて、ハワイ名物の「ロコモコ丼」を調理しました。

グループごとにボランティアの方に指導を受けながら、玉ねぎをみじん切りにして、ひき肉、パン粉などと混ぜてハンバーグを作りました。上からかけるソースや野菜スープも添えて、見た目も美味しい「ロコモコ丼」ができあがりました。